

2016年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」(1年次生用)実施要領

学習支援・教育開発センター FD支援部会

**【実施目的】**

- ・本学の学生に適した導入教育のあり方を考えるに当たって、学生のバックグラウンドや意識等についてのデータを収集、蓄積することによって、本学1年次生の特徴を客観的に把握することを目的とする。
- ・本調査で収集、蓄積したデータを3年次で実施する調査結果と比較し、学生が本学で受けた教育を含む大学生活の結果を検証するために活用する。
- ・過年度に実施した調査結果と今回実施する調査結果を比較することによって、各学部において実施された導入教育の効果を検証することを可能とするとともに、更なる改善のための材料を提供する。
- ・将来、導入教育および各学部教育の教育効果を測定することを展望して調査を実施する。

**【実施主体】**

- ・実際の調査に当たっては各学部の協力を仰ぐが、調査の実施主体は学習支援・教育開発センターとする。

**【調査対象】**

- ・学部1年次在学学生全員を対象とする。事前に調査対象者の抽出は行なわない。

**【実施時期】**

- ・秋学期成績通知書配付時(3月末)に実施する。

**【調査方法】**

- ・回答の提出は任意とする。
- ・成績通知書とともにアンケート用紙を配付し、原則として、その場で回収する。時間の都合等でやむを得ず用紙を持ち帰った場合は、後日、各校地教務センターもしくは学生所属学部事務室でも受け取る。

**【調査項目】**

- ・個人の変化を時系列に観察するため、学生IDを記入したパネル調査を実施する。個人を特定できるような質問項目はできる限り設けない。
- ・高校時代の学習状況、入試関係情報等の既得情報と入学前後の意識、1年間の学生生活の自己評価を問うが、学力測定は行なわない。
- ・回答は基本的に選択式とする。
- ・調査項目数は、15分程度で回答できる程度とする。
- ・具体的な調査項目は、経年調査の必要性に鑑み、基本的には前年度と同じものとするが、調査の信頼性を精査し、追加及び修正を行なう。ただし、経年調査の必要性に鑑み、将来的にも使用できるものに厳選する。

**【集計方法】**

- ・回収したアンケート用紙はデータ処理業者にデータの入力を委託し、SPSS等のデータファイル形式で納品させる。
- ・学習支援・教育開発センターに配置する専門調査員を中心に調査結果を分析し、大学全体の傾向を探るとともに、学部毎の特徴も抽出する。

**【調査結果の管理・運用】**

- ・調査結果は、別途定める『「キャンパスライフに関するアンケート調査」回収データ管理・運用規則』に従って厳格に管理・運用する。

**【その他】**

- ・調査目的、調査結果を目的外に使用しないこと、個人情報保護をアンケート用紙に明記して、学生に理解を求める。
- ・回答者に謝礼は渡さない。

以上